

つくる会 FAX 通信

第 270 号 平成 22 年(2010 年) 1 月 29 日(金) 送信枚数 1 枚

TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048 <http://www.tsukurukai.com>

大学入試センターに質問書を送付 本年度センター試験の「現代社会」の設問に関して

当会は、1 月 29 日、本年 1 月 16 日に実施された大学入試センター試験の「現代社会」の設問の中に、適切でないものがあるとして、同センター理事長あてに質問書を送付しました。質問書の全文は下記のとおりです。

平成 22 年 1 月 29 日

独立行政法人大学入試センター
理事長 吉本高志 殿

新しい歴史教科書をつくる会
会長 藤岡信勝

本年度大学入試センターの「現代社会」設問の問題点について

本年 1 月 16 日に実施された本年度の大学入試センター試験の「現代社会」の問題の中で、看過できない問題点がありますので、以下に提起し、回答を求めます。

「現代社会」第 1 問 問 3 で、「日本における参政権に関する記述として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ」と設問し、「最高裁判所は、外国人のうちの永住者に対して、地方選挙の選挙権を法律で付与することは、憲法上禁止されていないとしている」との記述を、記述として適当であるものとして位置づけている。

しかし、最高裁の判決では「参政権は国民主権に由来し、憲法上日本国籍を有する国民に限られる」としており、この記述を「記述として適当である」としたのは、明らかに誤りである。

したがって、この問 3 では、正答が と の 2 つ存在することになり、設問として極めて不適切であることになる。

しかも、当会の調査によれば、高等学校「現代社会」の教科書で本件について記述している教科書は数冊のみで、多くの教科書では取り上げていない。この点から見ても、出題として不公平である。

上記の問題点につき、2 月 15 日までに、文書でご回答いただきたくお願い申し上げます。

以上